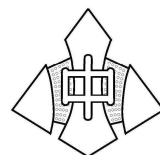


- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和2年9月8日（火）発行

【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

手をたずさえて

“ありがとうございました!! 大澤先生”

大澤香織先生が今週で勤務を終えられ産休に入り、ご退職となります。全学年の音楽科、1年副担任、吹奏楽部顧問として職務にあたられました。生徒達からは、「大澤先生の音楽の授業はとてもわかりやすかった」と評判でした。臨時休業明けの音楽の授業においては、歌唱や楽器演奏が制限される中、鑑賞の学習を進めたり、歌唱の際には生徒同士が向き合わない隊形にしたりなど、工夫しながら授業を実践してくれました。吹奏楽部の指導はもちろん



友垣祭の合唱コンクールに向けて、クラス合唱の指導に力を注いでくださいました。11月が出産予定です。元気なお子さんの誕生を心から祈っています。なお、大澤先生の後任となる音楽教員は10月1日に着任します。大澤先生からのメッセージです。



小原田中学校では、1年半お世話になりました。皆さんとは音楽の授業、部活動などを通してとても充実した日々を過ごすことができました。

今年度はコロナウイルスの影響により、思い通りにならないことも多い中、明るく前向きに頑張る皆さんの姿が見られ、日々元気をもらっていました。

また、私の体調を気遣ってくれたり、率先して荷物を持ってくれたりする皆さんの優しさがとても嬉しかったです。ありがとうございました。

今年度の友垣祭は縮小しての開催になりますが、合唱コンクールに向けてどのクラスも一生懸命練習する姿がとても頼もしく思えました。一人ひとりの思いを歌にのせ、素晴らしい合唱に仕上がることを心から祈っています。そして、小原田中生の「良さ」を今後も大切にして、自分の目標に向かって頑張ってください。応援しています。保護者の皆様にも様々な場面でご協力いただき、本当にありがとうございました。

早朝からの作業、お疲れさまでした！ 多くの保護者の皆様のご協力に感謝します！

9月5日（土）は、早朝6時半より1・3年PTA奉仕作業及び資源物回収が実施されました。伸び放題となっていた雑草に対し、用務員さんが除草作業を続けるとともに、生徒達も何度か除草作業をしましたが、今回多くの保護者の皆様のご協力、そこに生徒、教職員も加わり、かなりの量の雑草をとることができました。伊野PTA会長をはじめとする草刈り機部隊にも頑張ってくださいました。また、この日は資源物回収も行われ、こちらにも多くの方々のご協力を得ることができました。

今年度初めて実施されたPTA活動へのご協力に心から感謝申し上げます。



生徒会役員選挙 選挙運動始まる！ ～ 生徒会役員選挙に想うこと ～

9月7日（月）の朝、生徒会役員選挙に立候補した生徒とその責任者（応援者）が昇降口前に並び、いよいよ選挙運動が始まりました。「生徒会」や「生徒会役員選挙」について想うことをまとめてみました。

「小原田中の特色は何ですか？」「小原田中の伝統は何ですか？」と問われたとき、みんなは自信をもって答えることができますか？

今の小原田中には、きっと「よいところ」もあり、「よくしなければならぬところ」もあるでしょう。校風とは脈々と受け継がれるものであるけれど、生徒である君たちが気づいて行動することで、いっそうその輝きを増すことができると思います。小原田中の校風を君たちの今の時代にもっとすてきなものにして後輩たちに伝えていくこと、それが君たちの責務でもあるのです。生徒会活動について、今、取り組んでいることを一歩深く踏み込んで考え、レベルを上げることはできなだろうか。知恵と工夫を結集させ、より意味のある充実感に満ちた取り組みはできないだろうか、よく考えます。

「生徒会で学校は変わる！」… 今回、生徒会役員選挙に立候補したのは、小原田中をさらによい学校にしたいという強い想いをもっている人達だと思います。でも一部の人間だけでは学校は動きません。より多くの人達が、様々ななかかわりの中で“動く生徒会”であってほしい。この生徒会役員選挙を、全校生で生徒会を見つめ直し、小原田中をさらに誇りの持てる学校とするための新たなスタートとしてほしいと強く思います。

また、公職選挙法という法律が改正され、選挙権が18歳に引き下げられたことは知っていると思います。みんなも高校3年生から選挙ができるようになります。衆議院議員や参議院議員の国会議員、福島県知事、福島県議会議員、郡山市長、郡山市議会議員などは、国民や住民の選挙によって直接決められます。選挙は政治に参加する最も基本となる重要な権利です。この役員選挙には、近い将来にみんなが経験するであろう「選挙」というものの練習の意味があるということも覚えておいてください。そして、全校生徒が真剣な気持ちで生徒会を考え、立会演説会そして選挙に臨んでほしいと思います。

“生徒会”とは君たち一人一人から成る組織です。役員だけが頑張ってもよい学校にはなり得ません。役員の生徒がリーダーシップを発揮する中で、“生徒一人一人が考え、動く生徒会”を目指してほしいです。



現生徒会役員の想い ～“小原田中を語る会”から～



7月に行った生徒会役員と校長の“小原田中を語る会”。そこで夏休みの宿題として出した「役員としての想い」や「今後の生徒会活動としての取り組み」などについて紹介します。

- ◆ 目安箱などを設置して生徒の意見を積極的に取り入れるとともに、昨年生徒会交歓会で他校が行っている活動の資料をもらったので、それらも参考にしながらよりよい小原田中をつくっていきたい。
- ◆ 最近給食前に手洗い・うがいをしない人が出てきています。コロナウィルス対策として手洗い・うがいを呼びかけたり、手を洗ったか確認したり

するなど、感染症対策についても生徒会を中心に活動したい。

- ◆ 「生徒会活動は学校をよりよくするためにやる」とよく言われているが、「よりよく」とは何かを考えて行動することを心がけてきた。1・2年生には、一つの信念を持って活動してほしいと思う。
- ◆ 生徒会活動に満足しているかについてアンケート調査をしたり、生徒一人一人が学校を好きになれるような企画づくりをしたい。
- ◆ 生徒会で新しい行事をやるのもよいが、「もともとある行事」を今まで以上に盛り上げていければと思う。また、挨拶ができていない要因の一つとして、挨拶をなぜするのか分かっていないことだと考える。生徒会では挨拶の必要性を知ってもらうためにイベントやアンケートなどを実施するべきだと思う。
- ◆ 1年生の時、先生から生徒会に入ってみないかと声をかけていただいたときはとても嬉しかった。今は2年生がだんだんと前に出てみんなを仕切ることが多くなってきた。同時に自分にできるだろうかと不安も大きくなってきたが、この不安に負けず学校の中心となり何事にも挑戦していきたい！